

環境対策について

問 匝瑳市における環境対策について、現状と今後の計画はどのような状況か。

答 社会構造や生活様式の変化により生じた家電製品などが山林や道路に不法投棄されている事件が増加しています。

問 匠瑳市においては保安林や砂浜などへのポイ捨てや漂流ごみの増大、八日市場地域の平たん部においては、休耕地、河川などへのコンビニ弁当の空箱やペットボトルなどのボ

イ捨て、北部の丘陵地帯では、集落から離れた山間部荒廃地へのテレビ、冷蔵庫、洗濯機などの家電製品や建設廃材などの不法投棄が後を絶たない状況です。市としては、匝瑳市環境基本条例、匝瑳市環境保全条例及び匝瑳市まちをきれいにする条例などに基づき、円滑なごみ処理の推進、分別収集の指導、ごみの再資源化の促進、産業廃棄物の不法投棄防止バトロールの強化、不

財政関係について

問 平成十九年度予算編成では從来の方式を変え枠配分で行う、その理由をお聞かせ願いたい。

法投棄物の処理に取り組んでいます。

答 平成十九年度予算を枠配分方式で行おうとした理由ですが、厳しい財政状況ですから、一般会計予算は緊縮率予算にならざるを得ず、従来からのシーリング手法による予算の一時削減と財政課による一件査定では、調整が非常に困難と思われることから、新たな予算編成手法として枠配分方式を導入したところです。

問 匠瑳市予算編成について、税の滞納の問題ですが、市民税七億円か八億円、国保税も七億円か八億円滞納がある。払い戻しに従事する手続の問題であります。減免制度を導入して、減免制度で處理して収納率を高める。払えるけれども払わないという方に、市長、助役が先頭に徴収に歩くべきと思うが。

問 平成十九年度中に財政健全化計画を策定していくことは、事業の後評価については、効率的かつ効果的な行政運営が必要不可欠であることから、行政改革大綱案に基づき、平成十九年度中に財政健全化計画を策定していくこととする改進内容、そして市が提案する改進内容、それぞれについて違うところは。

答 この税の問題について、市長と助役が先頭に立つて、徴収に歩けというご指摘でした。そのような考えは持つておりますが、お互いに関係課とも調整しながら、良い方法を私は検討していきたいと

しましては、担当部署が自らの権限と責任で予算を編成することから、自主性と自律性が確保されることとともに、財政状況や事業コストに対する意識が向上することができます。

問 現在、匝瑳市行政改革大綱を策定中でありますので、行政改革大綱案に基づき、平成十九年度中に財政健全化計画を策定していくことは、事業の後評価については、効率

案が作成されたのではないかと考えるが、利用者が求める改善内容、そして市が提案する改進内容、それぞれについて違うところは。

答 市内循環バス利用向上対



荒廃地へ無惨に捨てられた粗大ゴミ

野焼きの撲滅の現状とその対策はどうか。ごみ、あるいは他のものを燃やす行為として、たき火や野焼きがあり、また伝統行事等があるが一体どのような行為が可能でどのような行為が禁止されているか、わかりやすい形でしっかり啓発する必要があるが。

問 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、処理基準

考っています。実は、私もこの立場に就任してから、悪質な滞納者には、差し押さえの令書を発行しています。悪質者に対しまして、やはりなんとなくこれに立ち向かってい

くというのが、私の姿勢です。それでもこれに立ち向かってい

うことだが、現状をどのように考えておられるか。本市の予算執行に関してむだはないのか。

問 新市になつても財政健全化プログラムを実施するといふことです。現状をどのように判断するか。本市の予算執行後に事務事業の成果を客観的に判断する事後評価制度を導入してはどうか。

答 現在、匝瑳市行政改革大

歳末に七月一日から廃止・削減計画が始まり、退所者が生まれています。このままでは、多数の「介護難民」「療養難民」を生み出すことになります。また、法律には、高齢者の患者負担を大幅に引き上げることも含まれています。高齢化の進行とともに、今後、単身や高齢者世帯の増加が予想されます。療養病床の廃止・新建築や高齢者の患者負担増を直ちに中止し、医療・介護の環境整備・拡充するよう要請いたします。

問 市内循環バスの利便性の向上のため改善を求めてきた。利用者アンケート調査が実施され、利用向上対策検討委員会も行われた。運行改善計画も実施するといふことです。現状をどのように判断するか。本市の予算執行後に事務事業の成果を客観的に判断する事後評価制度を導入してはどうか。

答 この税の問題について、市長と助役が先頭に立つて、徴収に歩けというご指摘でした。そのような考えは持つておりますが、お互いに関係課とも調整しながら、良い方法を私は検討していきたいと

考っています。

問 多くの市民に利用される市内循環バス

答 現在、匝瑳市行政改革大

問題を抱えています。

問 特別養護老人ホームの待機者は全国で三十八万人、千葉県でも一万七千人を越えています。

答 現在、介護保険を利用している高齢者の多くは、七十歳代後半から八十歳、九十歳の高齢者で、多くは単身世帯であるとともに、認知症を併せ持っています。

答 サービスを奪うことは「生きの氣力」を奪いかねません。

答 いま、自治体財政を取り巻く状況は、国の「三位一体改革」や国庫負担・補助金制度の見直し等により、「住民の安全と福祉を守る」という自治体本来の役割が充分果たせない実態があります。

答 そこで、高齢者が安心して介護が受けられるよう、介護サービスに対する過重な負担の軽減と十分な基盤整備、そのためにも介護保険者である地方自治体の國の財政支援を強く求め、左記の事項を要請します。

問 一「地域支援事業」に係る住民負担と市町村介護保険財政の負担を軽減するために、国の介護給付費への負担割合を、現行二十五パー

ントから五十分に引き上げること。